

柴崎・関本研究室

東京大学 空間情報科学研究センター
Center for Spatial Information Science

工学系研究科社会基盤学専攻
新領域創成科学研究科
社会文化環境学専攻

<http://shiba.iis.u-tokyo.ac.jp>

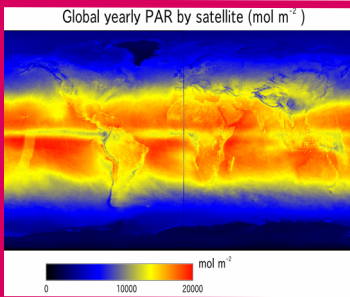
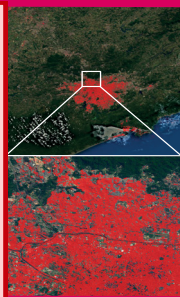
専門分野 空間情報工学

どこで何が起きているのか？これからどうなるのか？
一見ばらばらな情報をリアルタイムに統合化し、みんなで俯瞰できるように全体像を明らかにし、さらに先読みを可能とすることで社会や人々の抱える課題の解決を支援する研究を行っています。

衛星画像を用いた 全球マッピング

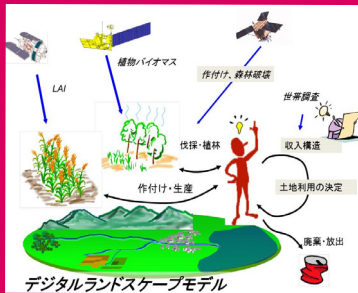
地球観測衛星の観測データを使い、道路や都市域などを抽出して地表面の様子を地図データとして記録する手法を開発し、全世界の都市に適用するためのシステムを構築しています。

知る



デジタルランドスケープ モデリング

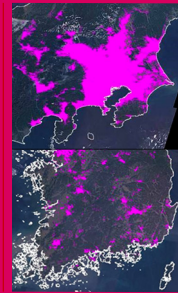
経済の変動、都市の拡大、作付けの変化、作物の生長と収穫、森林の変容といった一連のランドスケープの変化をシミュレーションモデル、社会経済データに加え、衛星からの観測データで絶えず補完・同化し、地球の土地利用や食糧需給のバランスを把握し、将来を見通す「デジタルランドスケープモデル」を構築しています。



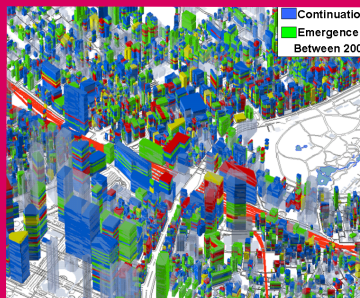
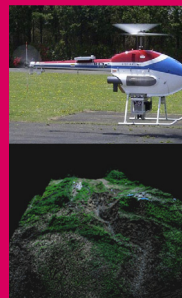
人の流れプロジェクト

「人の流れプロジェクト」では動線解析プラットフォームを立ち上げ、大量の人々の流れに関するデータの品質の確保と、その処理のための共通基盤やデータ処理技術のあり方について概観し、研究者や実務者などを対象とした時空間サービスの実現を目指します。

測る



理解する



マイクロジオデータ を利用した都市解析

電話帳やウェブ情報等を自動的に地図に流し込み、全ての都市、店舗・事業所の変化を常にウォッチし、動向を分析します。

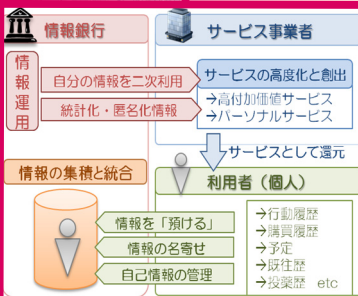
先読みする



3次元都市の 「ヒト・モノ・コト」 マッピング

デジカメ、レーザスキャナ、XboxのKinectから携帯電話の通話ログまで、様々なセンサや情報を駆使し、都市空間とそこでごくヒト・モノ・コトをリアルタイムにマッピングします。

サービスする



支援する



人・モノの移動データと シミュレーション モデルの同化技術

ヒトやモノが移動する際に残す様々な「痕跡」データをかき集め、シミュレーションモデルと「同化」することで、ヒト・モノの分布や活動の状況、その変化を都市全域にわたって「神の眼で見る」がごとく再現・推定できる技術を実現します。



「情報銀行」：個人情報 を自ら管理し社会に役 立てる仕組みの実現

個人が自分の活動情報を「口座」に蓄積・管理し、プライバシーを守りながら自分のため、社会のために利用する新しい社会の仕組み、情報銀行を実現することを目指しています。